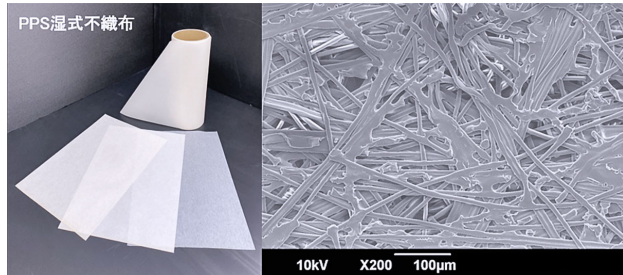


有力各社の取り組み

廣瀬製紙

廣瀬製紙は、PPSホ
リフェニレンサルファイ
ド）湿式不織布の拡販に
取り組む。優れた耐熱性
や耐薬品性を生かし、環境
や健康への影響が懸念さ
れる有機フッ素化合物
（PFAS）ヘルフルオ
ロアルキル化合物）が使
われる不織布代替用途を
開拓するほかエネルギー
やモビリティ分野など
ライディングフォースとな
る市場で新展開を目指
す。

PPS 湿式不織布を拡販



密度、空隙率などの調整
が容易で極めて薄く高密
度のシートが製造でき、
他素材との混抄が可能で
ある。PPSはつた湿
式不織布の特徴を持ち、
高耐熱性と耐薬品性を有
する。PPSの融点は2
85度Cと非
常に高く、広
い温度範囲で
優れた機械的
特性を示す。
また、多くの
酸、アルカリ、
有機溶剤など
に安定であ
る。これらPPS
の特性が注目
されているの
が、PFASに
分類される
PTFE（テフ
ロン）やポリ
オロエチレン
（PE）……
PPS湿式不
織布

ンなどのフッ素樹脂や
フッ素系被覆剤を使った
湿式不織布の代替材料市
場である。フッ素樹脂を
使った不織布はフィルタ
ーや分離膜、セパレータ
などの用途があるが、世
界規模でのPFAS規制
からユーザーが代替材料
の検討を開始している。
PPS湿式繊維不織布も
一部用途で採用されてお
り、今後、フィルターな
どで使われている多孔膜
フッ素樹脂の代替品開発
など需要の先取りで先行
者利益を確保する。
また、脱石油を背景と
したエネルギーやモビリ
ティ分野における新製品
や新技術などで不織布の
耐熱性や耐薬品性ニーズ
が高まっており、PPS
湿式樹脂不織布や他の素
材との複合品などを売り
込んでいく。

合成繊維不織布のパイオニア



さらなる高みをめざして、
広がる機能紙の可能性



廣瀬製紙株式会社

高知県土佐市高岡町乙3292番地1

TEL 088-852-7771

